



ラベルプロデューサー ユーザーズマニュアル

- はじめに
- 目次
- インストール
- 各部の名称と画面構成
- ラベル作成の流れ
- 基本操作
- 注意・制限事項

(C)1999-2000 Media Navigation, Inc. All rights reserved.

はじめに

「ラベルプロデューサー」をお使いいただきましてありがとうございます。

「ラベルプロデューサー」は、簡単でしかもパワフルな編集機能を備えたラベル・カード作成ソフトです。ラベルシートのイメージのまま、画面上でレイアウト作業ができますので面倒な位置合わせも不要です。マウスクリックだけでラベル作成を進めることができるウィザードも用意されていますので誰にでも簡単に美しいラベルを作成することができます。

ユーザーサポートについて

「ラベルプロデューサー」の操作中に問題や疑問が生じた場合は、下記の要領で弊社ユーザーサポート課までお問い合わせください。

なお、ユーザーサポートは正規登録ユーザーの方のみに限定させていただきますので、必ず「お読みください」の最後に収録されている「ユーザー登録フォーム」に必要事項をご記入のうえFAXまたは郵便にてご返送ください。

お問い合わせの前に以下の事項をご確認ください。

1. パソコン本体のメーカー名と機種名(型番)
2. 印刷に関するご質問の場合は、プリンタのメーカー名と機種名
3. 具体的な症状や疑問点

お問い合わせは、電話・FAX・封書のいずれかで下記までお願いいたします。

株式会社メディア・ナビゲーション

ユーザーサポート課

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷3-13-11

渋谷TKビル7F

TEL03-5467-1781

FAX03-5467-1780

受付時間 土曜・日曜・祝日を除く10:00～12:00,13:00～16:00

必要なシステム

日本語 Windows(Windows98/95/NTWorkstation4.0)の画面サイズ 800 × 600 ドット以上、HighColor (32,000色以上)モード、メモリ 32 M B 以上(64MB以上推奨)、ハードディスク空容量 最小5 M B、最大(フルインストール時)200 M B、CD-ROM ドライブが必要

ヘルプについて

メニューバーの<ヘルプ(H)>-<ラベルプロデューサーの使い方(C)>で、便利なヘルプメニューをひらくことができます。

また、こまったところでF1キーを押下した場合には、その場面に対応したヘルプのページが開きます。ヘルプをこのマニュアルと併せてご参照くださるよう、お願いします。

目次

インストール

- 1.1 インストール手順..... 4
- 1.2 アンインストール..... 5
- 1.3 環境設定..... 5

各部の名称と画面構成

- 2.1 ラベル表示画面..... 6
- 2.2 シート表示画面..... 6

ラベル作成の流れ

- 3.1 ラベルプロデューサーの起動..... 7
- 3.2 ラベル作成の流れ..... 7
- 3.3 「ウィザード」でラベルを作成する..... 8
- 3.4 「新規作成」でラベルを作成する..... 10
- 3.5 ラベルシートの印刷..... 11

基本操作

- 4.1 ラベル表示画面での操作..... 12
- 4.2 オブジェクト..... 13
 - 4.2.1 文字・図形オブジェクトの色変更..... 13
 - 4.2.2 オリジナル画像の追加..... 13
 - 4.2.3 バーコードオブジェクト..... 13
 - 4.2.4 ナンバリング..... 14
- 4.3 シート表示画面での操作..... 14
- 4.4 差込み印刷..... 15

注意・制限事項

- 文字の表示と印刷..... 17
- Windowsのフォントサイズ..... 17
- デジタルカメラなどのTWAIN機器について..... 17
- 印刷について..... 17
- 収録素材について..... 17
- 本製品ご使用条件..... 18

インストール

「ラベルプロデューサー」をお使いいただくためには、CD-ROMに収録されているプログラムやデータなどをパソコンに接続されているハードディスクに複写する必要があります。「ラベルプロデューサー」には、インストール作業を簡単におこなえる専用のセットアッププログラムが付属しています。

1.1 インストール手順

1. Windows が起動しているパソコンの CD ドライブに「ラベルプロデューサー」の CD-ROM をセットします。数秒するとセットアッププログラムが自動的に起動します。<お読みください(R)> をクリックすると Readme.txt ファイルを見ることができます。セットアップを開始するには<セットアップ(S)> ボタンをクリックします。

「AcrobatReaderのインストール」ボタンを押すと、AcrobatReader のセットアップが起動します。このソフトをインストールすることで、PDF 形式のファイル（このマニュアル等）を閲覧することができるようになります。



2. セットアップ方法を選択する画面が表示されます。



「標準インストール」では約 5MB、「すべてインストール」では約 200MB の容量が必要になります。ただし、お使いの Windows やハードディスクの環境によって必要な容量が変化しますので、実際にはさらに多くの容量が必要になることがあります。

3. 「ラベルプロデューサー」ファイルの複写先のフォルダ名が表示されていますので、フォルダを変更する必要がなければ、このまま<OK> ボタンをクリックします。



4. インストールが始まると複写中のファイル名や進行状況が表示されます。



5. 正常にセットアップが終了するとメッセージが表示されますので<OK>ボタンをクリックします。



6. これで必要な作業は終わりました。「ラベルプロデューサー」のアイコンをダブルクリックしてプログラムを起動できることを確認してください。



「標準インストール」と「すべてインストール」の違いについて

「標準インストール」を選択した場合は、必要なハードディスクの容量は少なくてすみませんが、「ラベルプロデューサー」のデータ(イラスト・背景柄・デザイン等)を使用する際にCD-ROMにアクセスしますので、デザインや背景柄などの読み込みに時間がかかる場合があります。なお、「標準インストール」を選択した場合でも、「ラベルプロデューサー」のデータを使用しない場合はCD-ROMをセットして起動する必要はありません。

反対に「すべてインストール」を選んだときは、たくさんのハードディスク容量を使用しますが、処理スピードが速くなり快適に「ラベルプロデューサー」をお使いいただくことができます。

1.2 アンインストール

アンインストールは、インストールの反対の作業で「ラベルプロデューサー」をハードディスクから削除したいときにおこなう作業です。〈スタート〉の〈プログラム(P)〉から〈ラベルプロデューサー〉の〈アンインストール〉を選択します。確認のメッセージが表示されますので、本当に削除してよろしければ〈はい〉ボタンをクリックします。

ご注意

アンインストール時に削除されるフォルダをエクスプローラなどで表示させたまま、アンインストールをおこなった場合、存在しないフォルダを参照していることになるため「～にアクセスできません」というエラーメッセージが表示されたり、存在しないフォルダが表示されたままになることがあります。このような場合は、エクスプローラの〈表示(V)〉から〈最新の情報に更新(R)〉を選択して、表示されている内容と実際のフォルダ内容を一致させてください。

1.3 環境設定

〈ファイル(F)〉-〈環境設定(E)〉で「ラベルプロデューサー」の環境を設定するダイアログが開きます。

< プログラムパス >

セットアップしたときに〈標準インストール〉が選択されていると「ラベルプロデューサー」に必要なファイルがCDから複写されていませんので、実行時にそのファイルがどこにあるか指定します。

〈自動検索(A)〉を選択するとすべてのドライブを自動的に検索します。通常は、〈自動検索(A)〉に設定してください。



< ヒント表示 >

マウスポインターをボタンなどの上で静止したときに表示されるヒントの有効・無効を切り替えます。

< 印刷方法 >

印刷時のプリンタへのデータ送信方法を切り替えます。〈高速印刷(F)〉を選択した場合、送信するデータ量が少なくなるため短時間で印刷できるようになりますが、お使いのプリンタによっては、変形文字やイラストなどが正しく印刷できないことがありますのでご注意ください。〈標準印刷(N)〉を選択した場合、背景柄などの印刷に時間がかかることがあります。

各部の名称と画面構成

「ラベルプロデューサー」は、デザイン編集するために1面のラベルだけを表示する「ラベル表示画面」とラベルシート全体を表示する「シート表示画面」の2つの画面から構成されています。

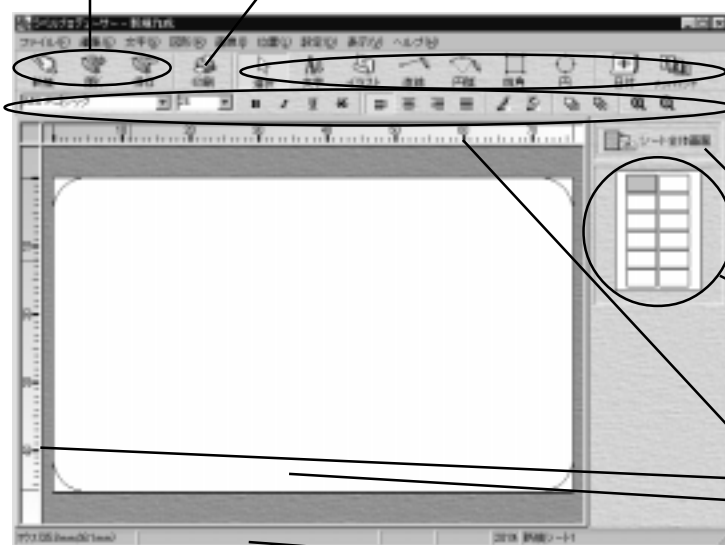
2.1 ラベル表示画面

ファイルボタン

ファイル操作をおこないます

印刷ボタン

印刷をおこないます



ツールボタン

オブジェクトの配置に使用します

編集ツール

オブジェクトの編集に使用します

画面切り替えボタン

シート表示画面に切り替えます

ラベル選択ボタン

用紙イメージが表示されているので編集したいラベルをマウスでクリックして選択します

ルーラー

編集エリア

ステータスバー

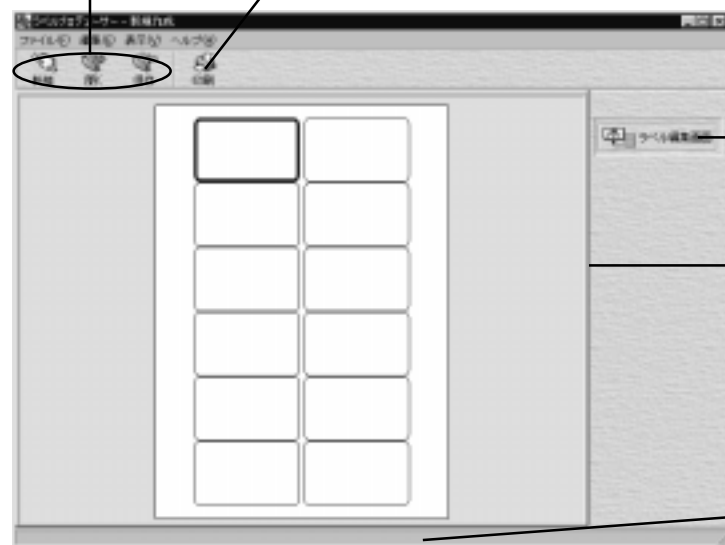
2.2 シート表示画面

ファイルボタン

ファイル操作をおこないます

印刷ボタン

印刷をおこないます



画面切り替えボタン

ラベル表示画面に切り替えます

シート表示エリア

ステータスバー

ラベル作成の流れ

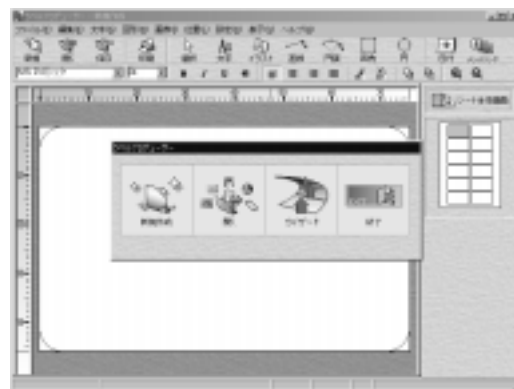
基本的な操作方法などを練習するために、実際にラベルを作成してみましょう。

3.1 ラベルプロデューサーの起動

「ラベルプロデューサー」のアイコンをダブルクリックするか、タスクバーの<スタート>メニューの<プログラム(P)>から<ラベルプロデューサー>の<ラベルプロデューサー>を選択してプログラムを起動してください。



「ラベルプロデューサー」が起動するとラベル作成の方法を選択するダイアログが開きます。

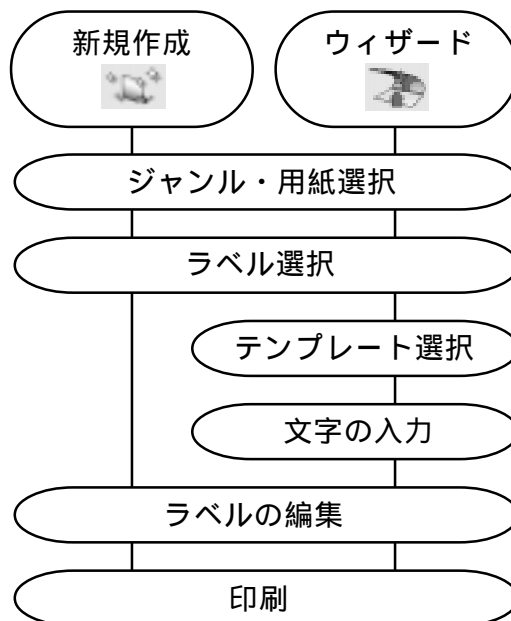


3.2 ラベル作成の流れ

「ラベルプロデューサー」では、**ウィザード**を使用して簡単にラベルを作成したり、白紙から**新規作成**して、文字や図形などを順番にラベルの上に置いていくことでデザインを作成していくことができます。



新しいラベルデータを作成するには、<新規作成>か<ウィザード>のボタンをクリックします。<開く>をクリックすると、既に作成して保存してあるラベルデータを開いて編集することができます。
<終了>をクリックすると、ラベルの編集を行わずに「ラベルプロデューサー」を終了します。



3.3 「ウィザード」でラベルを作成する



起動画面で、<ウィザード>ボタンをクリックすると、ウィザードの説明にしたがってマウスをクリックするだけで簡単にラベルデータを作成することができます。

1. ウィザードを開始する

起動画面で<ウィザード>ボタンをクリックします。



2. ジャンルを選択する

ウィザードが開始します。
まず、作りたいラベルの用途(ジャンル)をマウスで選択します。



よろしければ<>>次へ(N)>をクリックします。

3. 用紙を選択する

右側に2.で選択したラベルの用途に合った用紙一覧が表示されますので、使用する用紙を選択します。
デザイン方法(D)で、<全ラベル同じ>を選択すると、ひとつのラベルを作成するだけで、すべてのラベルに、編集したデザインを印刷することができます。



よろしければ<>>次へ(N)>をクリックします。

4. デザインパターンを選択する

右側の<適用するラベル>から、印刷したいラベルを選択すると、左側のラベル一覧にラベルの形状に合わせたデザインが表示されます。
左側のデザイン一覧から、使用したいデザインを選択して下さい。



ラベルとデザインがよろしければ<>>次へ(N)>をクリックします。

5. 入力項目を設定する

4.で選択したデザインによってはデザインに組み込まれている文字列をお好みの文字列に変更することができます。
文字列を変更したい場合は変更したい文字列をクリックして文字列を編集します。



よろしければ<>>次へ(N)>をクリックします。

6. 作成データを確認する

用紙イメージが表示されますので、よろしければ<完了>をクリックしてウィザードを終了し、ラベル編集に進みます。

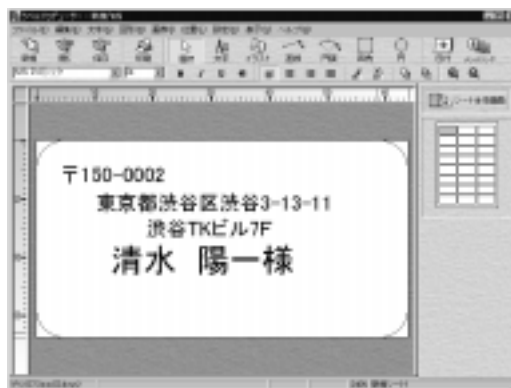


他のラベルにもウィザードを実行したい場合には、<別のラベル(N)>をクリックしてください。4. のデザインパターンからの選択からウィザードを繰り返すことができます。<適用するラベル>で、次に編集したいラベルをクリックして選択してからデザインを指定してください。


なお、3. のデザイン方法(D)で、<全ラベル同じ>を選択している場合には別のラベルに対してウィザードを実行することはできません。

7. ラベルを編集する


ラベルを編集します。



8. ラベルを印刷する

ラベルのデザインがよろしければ、 ボタンをクリックして印刷を開始します。

9. ラベルを保存する

作成したラベルを保存したい場合は、 をクリックしてハードディスクにラベルデータを保存することができます。

もう一度ウィザードを実行するには



ウィザードを最初からもう一度実行するには<ファイル(F)>-<新規作成ウィザード(W)>を実行します。ジャンル選択からウィザードが開始されます。

オブジェクトボタンに無いオブジェクト



「背景柄」と「バーコード」の2つのオブジェクトはオブジェクトボタンで配置・設定できません。

背景柄を変更するには<画像(I)>-<背景柄(B)>を選択します。

バーコードを配置するには<画像(I)>-<バーコード(J)>を選択します。

オブジェクトボタン



3.4 「新規作成」でラベルを作成する



起動画面で、<新規作成>ボタンをクリックすると、白紙から自由にラベルデータを作成することができます。

1. 新規作成を開始する

起動画面で <新規作成> ボタンをクリックします。



2. 用紙を選択する

用紙選択ダイアログが開きます。



右側の<用紙グループ(G)>から作りたいラベルの用途(ジャンル)をマウスで選択します。

<用紙名と用途(N)>に選択したラベルの用途に合った用紙一覧が表示されますので、使用する用紙を選択します。

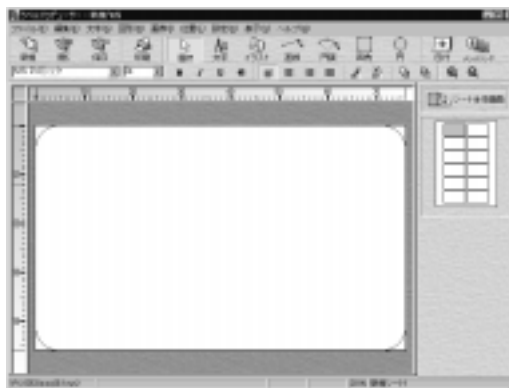
用紙が選択されると、<用紙イメージ>に用紙のイメージ画像が表示されますので、お手持ちの用紙と見比べて確認してください。

デザイン方法(D)で、<全ラベル同じ>を選択すると、ひとつのラベルを作成するだけで、すべてのラベルに、編集したデザインを印刷することができます。


よろしければ <OK> をクリックします。

3. ラベルを編集する


ラベルを編集します。




4. ラベルを印刷する

ラベルのデザインがよろしければ、 ボタンをクリックして印刷を開始します。

5. ラベルを保存する


作成したラベルを保存したい場合は、 をクリックしてハードディスクにラベルデータを保存することができます。

もう一度、新規作成を実行するには
新規作成を最初からもう一度実行するにはツールバー上の  をクリックします。
用紙選択から新しいラベルデータの作成が開始されます。

3.5 ラベルシートの印刷

まず、<ファイル(F)>メニューの<プリンタ設定(R)>で用紙サイズや解像度などを設定します。「ラベルプロデューサー」の初期状態では、A4サイズの内紙が選択されています。印刷する用紙に合わせて用紙サイズを設定してください。

印刷ダイアログを開く

ツールバーのをクリックするか、<ファイル(F)>メニューから<印刷(P)>を選択します。



印刷を実行する

印刷ダイアログで<印刷開始>ボタンをクリックすると、印刷を開始します。

印刷するラベルを選択する

「ラベルプロデューサー」では、ラベルシートに配置されているすべてのラベルを印刷するだけでなく、指定したラベルだけを印刷することもできます。



<指定ラベル(S)>をチェックします

印刷したいラベルをマウスで選択します

ラベル枠線・切り取り線の印刷

また、ラベルの枠線や切り取り線も印刷することができますので、テスト印刷する際に枠線や切り取り線を印刷して、実際の印刷位置を簡単に確認することができます。

チェックするとラベル枠線を印刷できます

チェックすると切り取り線を印刷できます



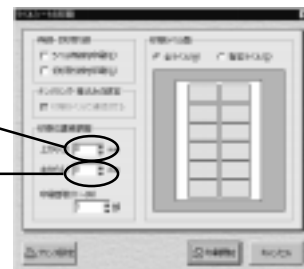
印刷位置がずれる場合

印刷ダイアログメニューの<印刷位置微調整>を指定して正しい位置に合わせることができます。

少し右側に印刷したいときは、<左から(L)>の項目にずらしたい大きさをミリ単位で指定します。キーボードから直接数字を入力すれば、1/10ミリ単位で指定することができます。

上からの印字位置を数値入力で設定できます

左からの印字位置を数値入力で設定できます



左側にずらすときには、同じ項目にマイナス(-)の値で指定します。

上下にずらしたいときは、<上から(T)>の項目で指定します。

ラベルシートの正確な位置に印刷するために、何度か練習しておきましょう。

印刷ラベル面で連続させる

<印刷ラベル面>に<指定ラベル(S)>を指定している場合に<ナンバリング・差込みの設定>の<印刷ラベルで連続させる>オプションを使用できます。

<印刷ラベルで連続させる>オプションを使用すると、差込みオブジェクト(4.4差込み印刷参照)やナンバリングオブジェクト(4.2.4ナンバリング参照)が印刷に選択されたラベル内で連続になります。

なお、このオプションを使用すると、印刷結果はシート表示画面のものとは異なったものになりますのでご注意ください。



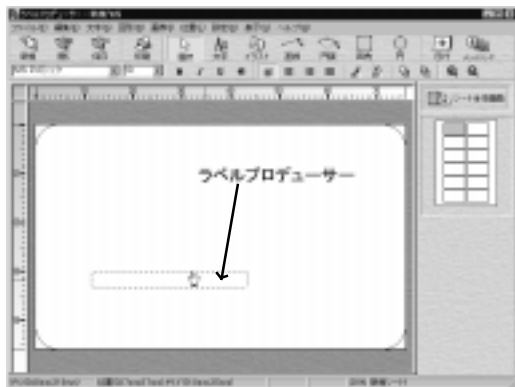
基本操作

4.1 ラベル表示画面での操作

ラベル表示画面は、文字やイラストなどのオブジェクトを追加したり、編集したりする画面です。「ラベルプロデューサー」では、ラベル上に作成した文字やイラスト、直線や四角などの図形、バーコードや日付文字などを総称してオブジェクトと呼びます。それぞれのオブジェクトは、共通の操作で移動したり変形したりすることができます。

オブジェクトの移動・コピー

ラベル上に配置された文字やイラストなどのオブジェクトの上にマウスカーソルを移動するとマウスカーソルの形が指の形に変わります。このときにマウスの左ボタンを押しながらマウスを移動させるとオブジェクトを移動できます。

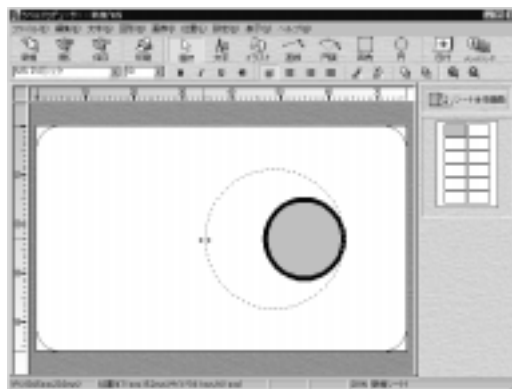


オブジェクトの変形

オブジェクトをマウスでクリックすると黒や緑の点で囲まれ選択された状態になります。この時オブジェクトを囲んでいる黒い点の上にマウスカーソルを移動するとマウスカーソルの形が矢印の形になり、オブジェクトを変形できるようになります。マウスカーソルが変わった所でマウスの左ボタンを押し、そのままマウスを移動させるとオブジェクトの形を変えることができます。ただし、文字と日付文字では、オブジェクトの枠だけが変形します。ワンポイントイラストやイメージオブジェクトを変形するときは、自動的に縦横の比率を保ったままの変形(オブジェクトの拡大・縮小)になります。また、shiftキーを押しながら操作すると自由な形に変形することもできます。

直線オブジェクトをShiftキーを押しながら変形すると垂直線や水平線を引くことができます。

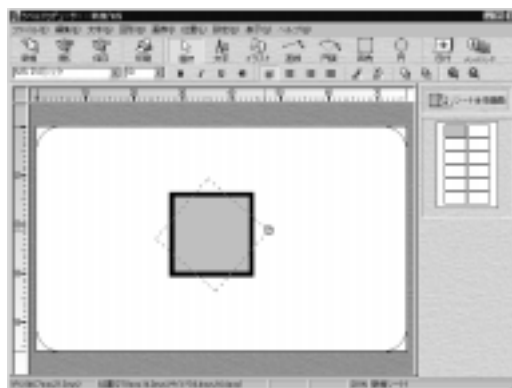
四角オブジェクトや円オブジェクト、バーコードをShiftキーを押しながら変形すると現在の縦横比を保ったまま変形します。



オブジェクトの回転

オブジェクトを選択状態にすると右上と左下には緑色の点が表示されます。この緑色の点をマウスで移動するとオブジェクトを回転することができます。

グループ化されたオブジェクトや直線、円弧オブジェクトを選択したときには、この緑色の点は表示されません。



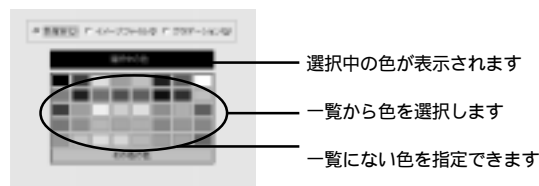
プロパティ

ラベル上に配置されたオブジェクトをダブルクリックするか、オブジェクト上でマウスの右ボタンをクリックすると開かれるポップアップメニューから<プロパティ (0)>を選択すると、そのオブジェクトの設定を変更できるダイアログメニューが開きます。

4.2 オブジェクト

4.2.1 文字・図形オブジェクトの色変更

<色指定(C)>をクリックすると、文字や図形オブジェクトの色を指定できます。
<イメージファイル(I)>や<グラデーション(G)>を塗り色に指定することもできます。
詳細はヘルプを参照してください。



4.2.2 オリジナル画像の追加

ツールバー上の  ボタンで、お手持ちの画像ファイルを指定することができます。

<イラスト集> タブ

「ラベルプロデューサー」に収録されているイラストを指定することができます。



<ファイル> タブ

お手持ちの画像ファイルを指定することができます。
指定できる画像ファイルはBMP形式、JPEG形式、PhotoCD形式です。

<クリップボード> タブ

クリップボードの内容が取り込まれます。

<TWIN> タブ

接続されているデジタルカメラなどのTWIN機器からイメージを取込み、オブジェクトとしてラベルに追加します。
<取り込み>ボタンをクリックすると取り込みを開始します。

4.2.3 バーコードオブジェクト

<画像(I)>-<バーコード(J)>でバーコードオブジェクトを追加します。広く普及しているバーコードでJANコード、CODE39、CODE128の3種類があります。

コードの最後の1桁は、チェックキャラクタと呼ばれ、コードが正しいものであるかどうかの確認のための数字になっています。「ラベルプロデューサー」では、このチェックキャラクタを自動算出しますので数字でコードを入力するとチェックキャラクタを付加した正しいバーコードを表示します。

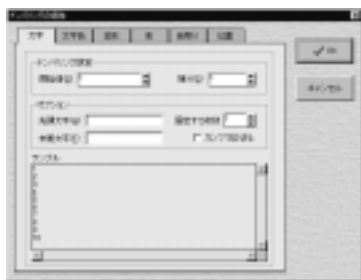


注意

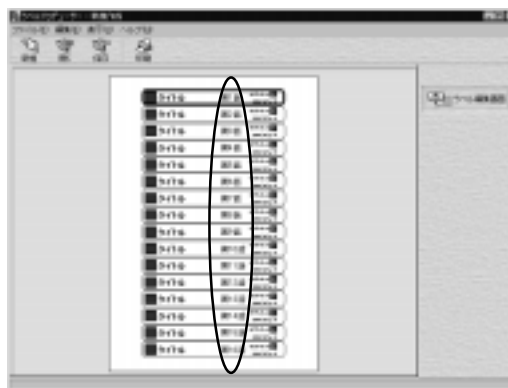
印刷したバーコードを正確に読み取れるかどうかは、プリンタの精度やラベルシートの紙質などによります。事前に十分なテストをした上でご使用ください。

4.2.4 ナンバリング

1 **2** をクリックすると各ラベルに通し番号(ナンバリングオブジェクト)を追加することができます。「新規作成」や「ウィザード」の「用紙の選択」で<デザイン方法(D)>を<全ラベル同じ>にしている場合に便利な機能です。



先頭文字(H)や末尾文字(F)を指定すれば「第1話」などのような指定ができます。



このように各ラベルに通し番号が付きま
す。

4.3 シート表示画面での操作

シート表示画面は、ラベルシート全体を一覧することができ、ラベル単位での複写や削除ができる画面です。表示されているラベルシートから、編集したいラベルをダブルクリックするとラベル表示画面に切り替わります。



表示されているラベルを他のラベル面にマウスで移動(ドラッグ&ドロップ)するだけで、ラベル面を複写することができます。また、このときにSHIFTキーを押しながら操作するとラベル面を移動することができます。ラベル面のデザインをすべて消去したいときは、そのラベルを選択して<編集(E)>メニューから<クリア(D)>を選択します。

4.4 差込み印刷

CSV形式のファイルからデータを読み込んで、差込みオブジェクトを配置することができます。差込みオブジェクトは、ひとつのラベルに配置したオブジェクトの内容が、シート上の各ラベルごとにCSVファイルのデータに置き換わる機能ですので、「新規作成」や「ウィザード」の「用紙の選択」で「デザイン方法(D)」を「全ラベル同じ」にしている場合に便利です。ひとつのラベルシートにつきひとつだけCSVファイルを指定できます。

CSVファイルを指定するにはメニューバーから「ファイル(F)」>「差込み CSV データ(C)」>「CSVファイルの選択(F)」を選択します。
「ファイル(F)」>「差込み CSV データ(C)」>「CSV データの一覧(V)」でCSVデータを確認、検索することができます。



差込みできるオブジェクトは以下の3つです。

1. 差込み文字

メニューバーから「文字(S)」>「差込み文字(E)」>で、データを文字オブジェクトとして各ラベル面に配置します。



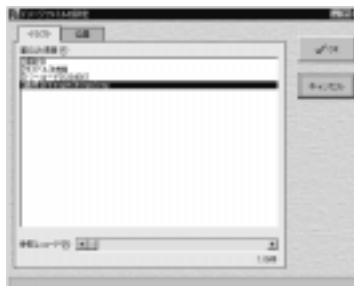
2. 差込みバーコード

メニューバーから「画像(I)」>「差込みバーコード(S)」>で、データをバーコードに変換して各ラベル面に配置します。



3. 差込みイラスト

メニューバーから「画像(I)」>「差込みイラスト(N)」>で配置します。
有効な画像ファイルへのパス(c : ¥image¥sample.jpg など)を指定しているデータであった場合に、各ラベルに画像を配置します。

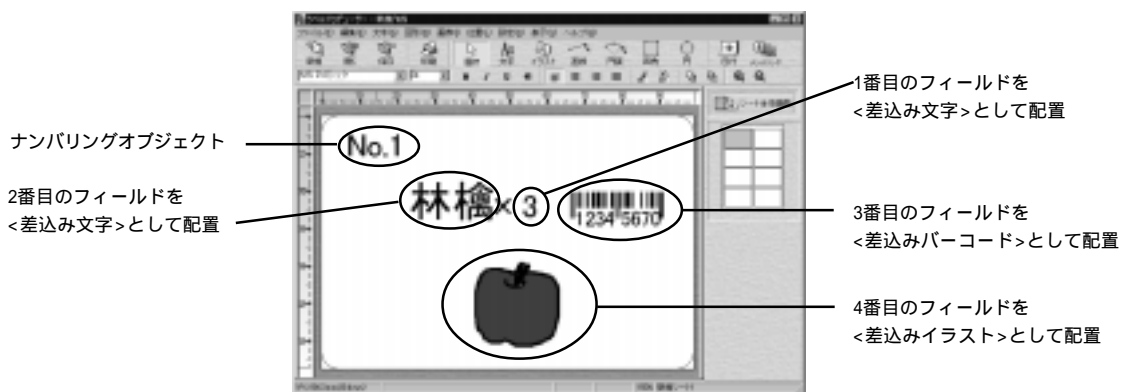


差し込み機能を利用した例

以下のようなCSVファイルを使用した例です。

個数, タイトル, バーコード, 画像
3, 林檎, 1234567, d:\images\ringo.bmp
5, バナナ, 2345671, d:\images\banana.bmp
6, 茄子, 3456712, d:\images\nasu.bmp
8, 胡瓜, 4567123, d:\images\kyuuri.bmp
5, 蜜柑, 5671234, d:\images\mikan.bmp
9, 檸檬, 6712345, d:\images\lemon.bmp
3, 西瓜, 7123456, d:\images\suika.bmp
7, トマト, 7654321, d:\images\tomato.bmp

d:\images(ドライブDの images というフォルダ)に有効な画像が入っているものとします。



ラベル表示画面で確認すると下のよう配置されています。



注意・制限事項

文字の表示と印刷

「ラベルプロデューサー」に使用されている文字が指定されているフォントやフォントサイズによって、画面表示と印刷時で位置や大きさに若干のずれが生じることがあります。このような時は、他のフォントに変更したり別のサイズに設定しなおしてください。

Windows のフォントサイズ

「ラベルプロデューサー」は、Windowsの画面のプロパティで<小さいフォント>のサイズで画面デザインされていますので、<大きいフォント>などの設定でお使いになった場合、メッセージなどの表示がずれて表示されることがあります。

デジタルカメラなどの TWAIN 機器について

デジタルカメラやスキャナーなどのTWAIN対応機器をご使用になる場合は、「ラベルプロデューサー」を使用して写真を取り込まれる前に、機器に付属しているTWAINドライバやユーティリティソフトで画像が正しく取り込まれることを確認してからご使用ください。

TWAIN機器をお使いになるためには、機器に付属しているTWAINドライバのインストールが必要になります。また、デジタルカメラなどでは、パソコンとの接続キットが別売の場合もありますので、接続方法や接続に必要なキットなどはTWAIN機器に付属のマニュアルでご確認ください。

ご注意

「ラベルプロデューサー」は、32ビット版のTWAINドライバに対応していますので、16ビット版のTWAINドライバや規格に正しく準拠していないTWAINドライバの場合、ドライバ画面が正しく表示されなかったり、画像を正しく取り込めない場合があります。

印刷について

「ラベルプロデューサー」でラベルシートを印刷する際、お使いのプリンタによっては、印刷に時間がかかることがあります。また、高画質の写真イメージやA3サイズなどの大きい用紙を登録してご使用の場合に、プリンタドライバによっては極端に大きい一時ファイルを作成することがありますのでご注意ください。

収録素材について

収録されている写真・イラスト・背景柄などの素材は著作権フリーではありません。営利目的でのご利用はできませんので、ご注意ください。

本製品ご使用条件

エイブリディンソンマクセル株式会社(以下「弊社」とします)は、本製品の使用に関し下記の条件を設定しています。

[1]使用許諾の制限事項

1. 本製品を賃貸業(レンタルやリース)に使用することはできません。
2. 本製品の全部または一部を無断で複製・転載したり、第三者に販売・譲渡することはできません。

[2]著作権の所有

本製品の著作権は株式会社メディア・ナビゲーションが所有しています。

[3]保証等の制限

弊社はいかなる場合も本製品の使用に起因するどのような事態に対しても一切責任を負いません。

(ご使用上の注意)

長時間使用するとき、健康のため1時間ごとに10～15分の休憩をとってください。

疲れているときや睡眠不足での使用は避けてください。

使用中は部屋を明るくして、モニター画面に近づきすぎないようにしてください

このディスクは「CD-ROM」です。一般のオーディオ機器やオーディオCDプレーヤーでは絶対に使用しないでください。大音量によって耳に障害を被ったり、スピーカーを破損するおそれがあります。

ごくまれに、強い光や点滅するモニター画面を見ていて、一時的に筋肉のけいれんや意識喪失等の症状を経験する人がいます。このような経験のある人は、使用する前に必ず医師に相談してください。また使用中にこのような症状が起きたときは、すぐに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

(取り扱い上の注意)

信号読み取り面(レーベル面の反対側の光った面)を汚さないように注意してください。汚れた場合は柔らかい布で、中心部から外周側に向かって放射線状に軽く拭き取ってください。

CD-ROMディスクを汚したり、キズをつけないようにしてください。ケースからの出し入れの際は、こすり傷をつけないよう特に注意してください。レーベル面に鉛筆やボールペンなどで、字を書いたり、シールを貼らないでください。読み取り面にキズを付ける恐れがあります。CD-ROMディスクを曲げたり、センター孔を大きくしないでください。

高温、多湿の場所には保管しないでください。記載事項およびソフトウェアの機能は予告なく変更することがあります。

ラベルプロデューサー ユーザーズマニュアル

平成12年2月1日 初版発行

発行
株式会社メディア・ナビゲーション
〒150-0002 東京都渋谷区渋谷3-13-11
渋谷TKビル7F

Windows, Windows95, Windows98, WindowsNTは米国マイクロソフト社の商標です。
その他、本文中に記載されている会社名・製品名は各社の商標または登録商標です。

1999-2000 Media Navigation, Inc. All rights reserved.
Photo CD Portion Copyright Eastman Kodak Company 1995